

高木復興大臣ぶらさがり会見録  
(平成27年11月5日(木) 15:08～15:14  
於) 福島県飯舘村役場飯野出張所)

1. 発言要旨

本日は、既に除染廃棄物のパイロット輸送が開始されている中間貯蔵施設の保管場の搬入状況、また大川原地区、東京電力給食センター、飯舘村役場飯野出張所を訪問させていただきました。

給食センターにおきましては、地元産の食材、あるいはまた地元の方の雇用、そうした形で能力としては1日3,000食とっておりましたが、今は1,800食というふうにお聞きしましたが、温かい食事を、いわゆる廃炉等の作業に携わっている方に提供しているということで、目に見える形で福島が再生しているというような感触を得ました。

大川原地区、あそこは復興拠点になるわけでありましてけれども、あの周りにいろいろなものができて、目に見える形で復興が進んでいくだろうというような思いをいたしました。

また、飯舘村の村長さんとの意見交換では、村長さんからは村の中心地に近い深谷地区に道の駅などの復興拠点を整備すると。国の支援をお願いするという話がございました。

また、賠償は6年目で区切りをつけて、自立した生活支援に移行すべきというような御意見もいただきました。そのためのソフトランディングに向けた仕組みが必要だという話を聞かせていただきました。

また、里山の再生、あるいは住宅リフォームにより、廃材の処理をめぐり苦勞をしているという話もございました。

また、仮設住宅、農地の保全管理、里山再生、除染、そういったようなことに関するいろいろな要望がなされたところでございます。

そういったお話をいただき、私からは復興拠点を整備することで帰還する気持ちが高まる重要な取り組みであり、この復興拠点の整備について最大限に支援したいという話もさせていただきました。

また、住宅リフォームについては、檜葉町で住宅マッチングサポート体制を整備している事例がありますので、これらを参考にし、対応したいというふうに考えております。

また、要望書をいただきましたので、その他の要望事項につきましても関係省庁、あるいはまた福島県と連携、協力して、できる限り対応したいという話をさせていただいたところでございます。

今後とも被災地の状況を自分の目で確かめて、被災地の声を丁寧

に伺いながら、しっかりと復興を前に進めてまいりたいと、そのように考えているところでございます。

私からは、以上でございます。

## 2. 質疑応答

(問) 大臣、今日昼に訪問された給食センターについてなんですけれども、先ほど地元の方々の雇用ですとか地元の製品の消費だったりと、そういうお話をされていましたが、これから住民の方々が帰還していくに当たって、こういった役割を給食センターに期待をされておりますか。

(答) 周りにいろいろな東電さんの社宅とおっしゃっていましたが、そういうものができたり、あるいは復興公営住宅ができたりします。ですから、今は給食センターというのは東電のいわゆる廃炉等に従事なさっている方の温かい食事の提供でありますけれども、将来的にはあそこをまたほかの、周りにいろいろな方がお住まいになられると思いますから、そうした人たちに対する食事の提供なども役割として果たしていただけないかなというふうに思いますし、また何よりもあそこにああいったものができているということ自体が非常に意義深いことだと思います。きっちりとなりわい、あるいはまた生活というものができるんだということを村民の方々にわかっていただいて、周りの大熊町の町の皆さんにわかっていただいて、一人でも多くの方が帰還をしていくという、そういう起爆剤になるのではないかなというふうに思っています。

(問) 続けてこれに関連してなんですけれども、ああいう給食センター自体で100人という雇用を確保しておりますし、今後町ができていくに従って、そこで消費をしていく方々にもなると思うんですけれども、そういった意味でこれから帰還を進めていくような場所でのなりわい支援、復興庁としてはどのように取り組んでいけるのか。

(答) いわゆる官民合同チームというのがございますけれども、今避難なさっている企業、どちらかというとなかなか中小企業と言っているかと思いますが、約8,000社に対しまして官民合同チームでいろいろとお話をお聞きする、あるいはいろいろなアドバイス、そういった形でまた元の仕事をやっていただけるような、そういう体制で今動いておりますので、それに期待をしております。

住民たち、皆さん方が帰ってきて生活をする上では、1つは御自分のなりわいというのがありますし、それから生活するためのいろいろな施設が要るわけがありますから、こういった企業が戻ってきていただくということは非常に大事なことだと思っております。

すので、官民合同チームのそういった活動を中心にこれからもしっかりと取り組んでいきたいというふうに思っています。

(問) そういう雇用支援なども今後拡大させていくということでしょうか。

(答) はい。そういうことであります。

(問) 今回の視察とは直接は関係ないんですけども、政治資金収支報告書に選挙区内で香典などを支出したとの記載があった問題をめぐって、本日公明党の山口代表が記者会見で、「当事者は説明責任を尽くしてほしい」という発言がありました。これについての受けとめを。

(答) もちろん、説明責任を果たすべきだというふうに思っております。これにつきましては、選挙区内で香典を出したわけでありますけれども、これは私が直接弔問、あるいはまたお通夜、あるいは葬式に行ったときに出したものであることは確認できました。また、本来個人で出したわけでありますけれども、いわゆる政治団体から出したというふうに記載されましたので、収支報告書を今後訂正します。

(以 上)